



スーパーロックフック用  
**チェーンスリング**  
**CSC 31**



## 取扱説明書

- この取扱説明書は、クランプの基本的なご使用方法および扱い方について説明しております。ご使用前によくお読み頂き、安全作業のため使用上の注意を守って正しくお使い下さい。

# 荷役、運搬に安全をお届けする **スーパークランプ**

<p>立吊クランプ (SVC)</p>	<p>スクリーカムクランプ (SCC SCC-W)</p>	<p>スクリーカムクランプJ型 (SJC SJC-S)</p>
<p>立吊クランプ (SVC-H SVC-WH SVC-L)</p>	<p>スクリーカムクランプ 吊クランプ引張り治具兼用型 (スィベルタイプ) (SUC)</p>	<p>スクリーカムクランプ ダブル・アイ型 (SDC-N SDC-WN SDC-S)</p>
<p>立吊クランプ (SVC-E)</p>	<p>形鋼クランプ (HLC-S HLC-W)</p>	<p>吊フック (HHC)</p>
<p>横吊クランプ (HLC-H HLC-WH HLC-U)</p>	<p>自在型横吊クランプ (GVC-E GVC-R)</p>	<p>スーパーロックフック (SLH-N SLH-S SLH-A)</p>

ご注文に応じて各種別注品の製作を承ります。

# スーパーチェーンスリングのご使用について

このたびはスーパーチェーンスリングをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。スーパーチェーンスリングは鋼材および加工品等の運搬用として開発された省力吊具です。

## 正しいご使用のお願い

作業の安全と能率を高めるため、本書の取り扱い要領を充分にご理解頂いた上で、安全にご使用下さいますようお願い致します。

## 最高の能率と経済性

細かい点にまで配慮されたスーパーチェーンスリングの持つ高度な機能と合理性および用途の広さは最高の能率と経済性を発揮します。

## 安全性には格別の配慮

安全面については、荷重試験などで十分な安全性を求めるとともに、製品個々に製造番号を付記するなど、格別な配慮を致しております。

# 安全上のご注意

## 玉掛け用チェーンスリングをご使用になる前に、必ずお読みください。

玉掛け用チェーンスリングの使い方を誤ると、吊り荷の落下などの危険な状態になります。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくお使い下さい。

チェーンスリングを購入され使用される事業主はもとより、作業される方に『クレーン等安全規則』『玉掛け用クランプの作業マニュアル』『貴社の作業基準』などを教育し、作業される方が、チェーンスリングの知識・安全の情報・そして注意事項の全てについて習熟されたことを確認の上、作業に従事させて下さい。

この取扱説明書に使用する注意事項を下記『危険』『注意』の2つに区分しています。



### 危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



### 注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物損の損害が想定される場合。

なお、**△注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容が記載されていますので、必ず守って下さい。

## ●記号の説明



・ **△注意** 記号は、危険・注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が記載されています。



禁止

記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



指示

記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が記載されています。

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれるところに必ず保管して下さい。

# 1. 取り扱い全般について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"><li>●取扱説明書、および注意タグまたは注意銘板の内容を熟知しない人は使用しないで下さい。</li><li>●法定資格のない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないで下さい。 (クレーン等安全規則第221条・第222条)</li><li>●吊り上げ運搬中や反転作業中には、吊り荷の落下、転倒範囲内に立ち入らないで下さい。(クレーン等安全規則第28条・第29条)</li><li>●玉掛け作業以外には、使用しないで下さい。</li></ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"><li>●作業開始前の点検や定期点検を必ず実施して下さい。 (クレーン等安全規則第217条・第220条)</li></ul>	 指示

# 2. 作業前の確認について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"><li>●作業方法に適合しないチェーンスリングは、使用しないで下さい。</li><li>●チェーンスリングの変形、亀裂、作動不良、摩耗など異常のあるものは使用しないで下さい。</li></ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"><li>●チェーンスリングのタグに表示された最大容量を確認して下さい。</li><li>●吊り荷の荷重が、使用するチェーンスリングの最大容量の許容範囲内であること。</li></ul>	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none"><li>●環境の条件が次の場合は、クランプを使用しないで下さい。 酸・アルカリ等の溶液中、および雰囲気中</li></ul>	 禁止

### 3. 使用方法と玉掛け作業について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"><li>●強風時、危険が予想される場合は、チェーンスリングを使用しないで下さい。</li><li>●油圧ショベルでは、チェーンスリングを使用しないで下さい。 (玉掛け作業に適したフック等を装備した場合は、「労働安全衛生規則第164条」および「労働基準局通達基発 542号」によること。)</li></ul>	 禁止
 注 意	
<ul style="list-style-type: none"><li>●チェーンスリングを投下したり、引きずったりしないで下さい。</li></ul>	 禁止

### 4. クレーンの操作について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"><li>●チェーンスリングの最大容量を超える吊り荷は、絶対に吊らないで下さい。</li><li>●吊り荷やチェーンスリングに、衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないで下さい。</li><li>●チェーンスリングで吊った荷に、人は乗らないで下さい。また、人の乗る用途には、絶対に使用しないで下さい。</li><li>●チェーンスリングで、地球吊りをしないで下さい。</li><li>●吊り荷から取り外したチェーンスリングを、再度吊り荷に引っ掛けたり、隣接の部材に当てたりしないで下さい。</li></ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"><li>●クレーンで巻き上げる時、吊り環に荷重が掛かった時点で、一旦停止して、安全確認をして下さい。</li><li>●着地前に一旦停止して、次の事項を確認して下さい。(吊り荷の傾き、転倒、および着地場所とその周辺の安全確保)</li></ul>	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none"><li>●吊り荷を引きずるようなクレーン操作はしないで下さい。</li><li>●チェーンスリングで吊り荷を吊ったまま、クレーン（巻き上げ機等）の運転位置から離れないで下さい。</li></ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"><li>●クレーンの巻き上げ・巻き下げは、静かに丁寧に行ってください。</li></ul>	 指示

## 5. 保守点検・保管・改造について

 <b>危 険</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>● チェーンスリング、および付属品の改造は、絶対にしないで下さい。</li><li>● チェーンスリング、および付属品に溶接、加熱などをしないで下さい。</li><li>● 当社純正部品以外は、絶対に使用しないで下さい。</li><li>● 修理が必要なチェーンスリングは、別の場所に保管し、誤って使用されないようにして下さい。</li></ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"><li>● 保守点検、修理は、事業者が定めた専門知識のある人が行って下さい。</li><li>● 保守点検で異常があった時は、そのまま使用せず、ただちに補修、または廃棄して下さい。</li></ul>	 指示
 <b>注 意</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 保守点検、修理をする時は、必ず空荷（吊り荷がない）の状態で行って下さい。</li><li>● 保守点検、修理をする時は、点検作業中の表示（『点検中』など）を必ず行って下さい。</li><li>● チェーンスリングは必ず室内に保管して下さい。</li></ul>	 指示

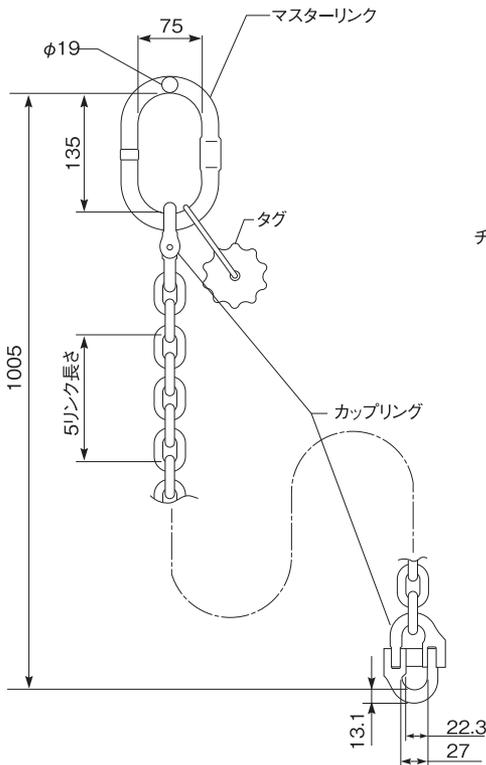


# スーパーロックフック用 チェーンスリング CSC31

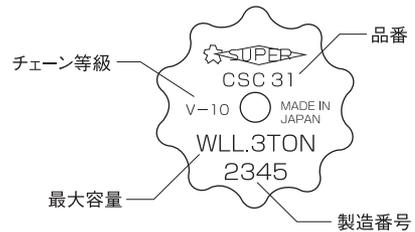
## ■ 用途・特長

1. 当社スーパーロックフック等のシャックルに直接取り付け使用出来ます。
2. 軽量で強靱なチェーンスリングです。ワイヤロープ等には比し長期間安全に使用して頂けます。
3. 製品には、使用荷重や製造番号等が確認出来るよう、タグが取り付けられています。

## ■ 仕様



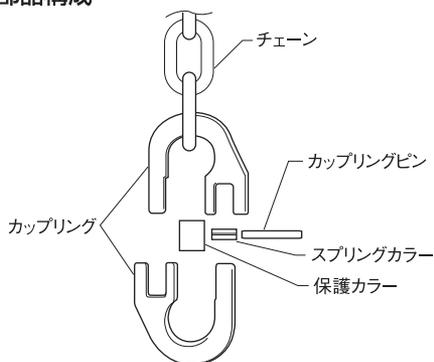
### ● タグの見方



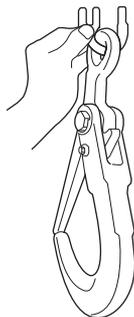
品 番	最大容量 (ton)	全 長 (mm)	5リンク長さ (mm)	チェーン径 (mm)	質 量 (kg)
CSC31	3	1005	150	10	3.5

## ■カップリングの取付方法

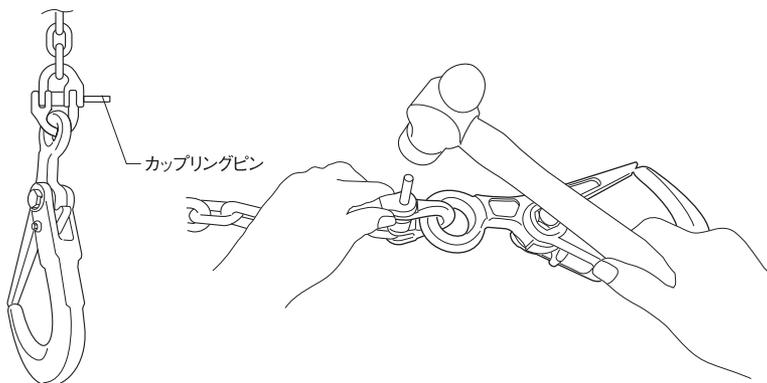
### ●部品構成



①カップリングの片側に使用吊具のシャックル部を通して下さい。



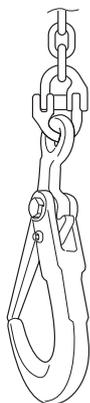
②カップリングを組合わせスプリングカラーと保護カラーを入れてカップリングピンを打ち込んで下さい。



③組み完了

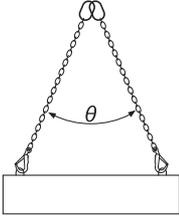
カップリングピン・スプリングカラー・保護カラーが取り付けられカップリングピンが抜けないう確認して下さい。スプリングカラー、保護カラーの無い状態での使用は事故の原因となります。

また、一度使用したスプリングカラー・保護カラーは再使用しないで下さい。



## ■使用荷重について

- チェーンスリングは、吊り角度( $\theta$ )により使用荷重が変化します。必ず吊り角度を確認して下さい。

品番 CSC31				
	1本吊	2本吊		
吊り角度 $\theta$	—	30°	45°	60°
最大容量 (ton)	3.0	5.7	5.5	5.0

- 高温の雰囲気で使用する場合、または一度高温の雰囲気で使用した後、再び常温で使用する場合は、その温度に応じて下記のとおり使用荷重を減率させて使用して下さい。

温度	使用荷重(%)
-40°Cを超え100°C以下	100
100°Cを超え200°C以下	90
200°Cを超え300°C以下	75
300°Cを超え350°C以下	65
350°Cを超え400°C以下	60
400°C超え	使用不可

⚠ **危険**:-40°C以下の低温および400°Cを超える高温での使用は出来ません。

- 下記条件の場合、使用荷重を80%に減率してご使用下さい。

- ①高頻度、常時使用荷重を負荷する作業
- ②常時振動が作用する作業
- ③自動ラインに組み込んでの使用

## 危険

- ◆ 最大容量以内で使用して下さい。
- ◆ 衝撃荷重を加えるような吊り上げ方はしないで下さい。
- ◆ 摩耗及び伸びによる使用限界を守り、変形及びき裂が生じているものは使用しないで下さい。
- ◆ チェーンがねじれた状態での使用は絶対にしないで下さい。
- ◆ 2本以上(1本吊りを2組以上使用する場合は、チェーンに均等に荷重が掛かるように使用して下さい。
- ◆ チェーンスリングとしてご使用の場合、荷物の角部が鋭角になっている時は、チェーン保護のため、必ず当てものをして下さい。  
また、チェーンが直接曲げ力を受けないようにして下さい。
- ◆ 改造しないで下さい。加熱・加工などをした場合は著しく品質(強度)の低下を招きます。
- ◆ 持ち運びの際、放り投げたり引きずったりしないで下さい。

## その他

### 補修部品・修理のお問い合わせについて

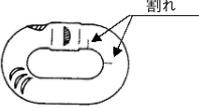
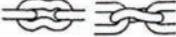
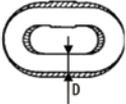
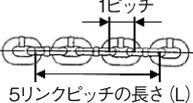
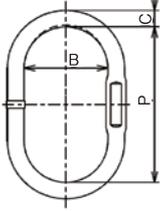
補修部品・修理を必要とされる場合は、本チェーンスリングの使用を中止し、その旨、裏表紙の(株)スーパーツールの各支店・営業所迄ご連絡下さい。

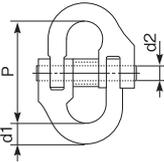
## 日常点検

作業の安全と能率低下を防ぐためにも日常の点検と手入れを実施して下さい。

1. マスターリンク・チェーン・カップリング等各部に変形、きず及びわれなどの破損がないか。
2. カップリングのピン類の取り付け状態はよいか。
3. 摩耗及び伸びによる変形等はないか。
4. 熱影響を受けて変色したものや、著しく腐食したものはないか。
5. その他点検基準を参照して下さい。

## ■点検基準

部品名称	点検項目と方法	使用限界	処置						
<b>チェーン</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タグが外れていないか。(目視)</li> <li>●きず・割れがないか。 (目視又はカラーチェック)</li> <li>●摩耗や変形がないか。(測定具)</li> <li>●腐食がないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タグが外れている時。</li> <li>●目視などで確認された時。 </li> <li>●当たりきずの場合、深さが1mm以上ある時。</li> <li>●線径の10%以上の変形がある時。 </li> <li>●チェーン線径(<math>\phi D</math>)が下記表中の寸法以下になった時 (10%以上摩耗)。  <table border="1" data-bbox="777 639 945 699" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>チェーン線径D(mm)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">9</td></tr> </table> </li> <li>●5リンクピッチの長(L)さが下記表中の寸法以上になった時。  <table border="1" data-bbox="777 824 985 885" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>5リンクピッチの長さL(mm)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">159</td></tr> </table> </li> <li>●腐食が深い時。</li> <li>●金具との連結部が腐食により滑らかに回転しない時。</li> </ul>	チェーン線径D(mm)	9	5リンクピッチの長さL(mm)	159	<b>廃却</b>		
チェーン線径D(mm)									
9									
5リンクピッチの長さL(mm)									
159									
<b>マスターリンク</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●きず・割れがないか。 (目視又はカラーチェック)</li> <li>●摩耗や変形がないか。(測定具)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目視などで確認された時。</li> <li>●ねじれなどの変形が明らかに確認された時。</li> <li>●マスターリンクの内寸法Pが下記表中の寸法以上になった時。 <table border="1" data-bbox="565 1192 792 1252" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>マスターリンクの内寸法P(mm)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">141</td></tr> </table> </li> <li>●マスターリンクの線径Cおよび内寸法Bが下記表中の寸法以下になった時。 <table border="1" data-bbox="565 1393 792 1453" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>B(mm)</td><td>C(mm)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">71.5</td><td style="text-align: center;">17.5</td></tr> </table> </li> </ul>	マスターリンクの内寸法P(mm)	141	B(mm)	C(mm)	71.5	17.5	<b>廃却</b>
マスターリンクの内寸法P(mm)									
141									
B(mm)	C(mm)								
71.5	17.5								

部品名称	点検項目と方法	使用限界	処置						
カップリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●きず・割れがないか。 (目視又はカラーチェック)</li>   <li>●摩耗や変形がないか。(測定具)</li>   <li>●ピン類の取り付け状態はよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目視などで確認された時。</li> <li>●当たりきずの場合、深さが0.5mm以上ある時。</li>   <li>●カップリングのピッチ(P)が下記表中の寸法以上になった時。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="511 427 709 485" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">カップリングピッチP(mm)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">78.7</td> </tr> </table>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●カップリング線径(d1)および、 カップリングピンの線径(d2) が下記表中の寸法以下になった時。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="511 667 899 725" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">カップリング線径 d1(mm)</td> <td style="text-align: center;">カップリングピン線径 d2(mm)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12.5</td> <td style="text-align: center;">7.6</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スプリングカラーがゆるみ、ピンが抜けかかっている時。</li> </ul>	カップリングピッチP(mm)	78.7	カップリング線径 d1(mm)	カップリングピン線径 d2(mm)	12.5	7.6	廃却
カップリングピッチP(mm)									
78.7									
カップリング線径 d1(mm)	カップリングピン線径 d2(mm)								
12.5	7.6								



株式会社 **スーパーツール**  
<https://www.supertool.co.jp/>



- |                          |       |           |                                   |                     |                  |
|--------------------------|-------|-----------|-----------------------------------|---------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> | 本社・工場 | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地                   | TEL.072-236-5521(代) | FAX.072-236-5785 |
| <input type="checkbox"/> | 大阪支店  | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地                   | TEL.072-236-5526(代) | FAX.072-236-3817 |
| <input type="checkbox"/> | 東京支店  | 〒142-0041 | 東京都品川区戸越3丁目4-18<br>ゴールドステーションビル4F | TEL.03-5750-2341(代) | FAX.03-5750-2347 |
| <input type="checkbox"/> | 名古屋支店 | 〒460-0026 | 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4                   | TEL.052-323-0701(代) | FAX.052-323-0720 |
| <input type="checkbox"/> | 札幌    | 〒003-0029 | 札幌市白石区平和通3丁目北4-20                 | TEL.011-864-3581    | FAX.011-864-3590 |
| <input type="checkbox"/> | 仙台    | 〒984-0831 | 仙台市若林区沖野2丁目8-5                    | TEL.022-294-1922    | FAX.022-285-1513 |
| <input type="checkbox"/> | 新潟    | 〒950-0855 | 新潟市東区江南2丁目6-2                     | TEL.025-287-5353    | FAX.025-287-6003 |
| <input type="checkbox"/> | 北 関   | 〒337-0004 | さいたま市見沼区御町2丁目6-9                  | TEL.048-682-5000    | FAX.048-682-5059 |
| <input type="checkbox"/> | 広島    | 〒733-0012 | 広島市西区中広町2-14-27                   | TEL.082-293-5570    | FAX.082-293-5531 |
| <input type="checkbox"/> | 福岡    | 〒812-0016 | 福岡市博多区博多駅南3-10-23                 | TEL.092-431-1897    | FAX.092-431-1909 |